

子どもたちの構想実現期待高まる 施設建設の覚書締結式開催

11月8日、「(仮称)山田町子ども交流センター覚書締結式」が行われ、町とサントリーホールディングス(HD)㈱、(公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの間で覚書が締結されました。子どもの居場所と図書館機能を持つ本施設は、同法人が支援する「子どもまちづくりクラブ」が企画・デザインし、サントリーHD社の支援により建設されます。式では子どもたちによる活動発表も行われ、発表した外館ひなたさん(豊間根中3年)は「自分たちの構想の実現は今後の活動の励みになる」と笑顔で話しました。



うにっちと一緒に楽しくダンス 園児らが国体ダンス学ぶ

10月28日、船越保育園(川端京子園長)において国体ダンスキャラバンが催されました。これは国体に向けて国体ダンスを普及するために県内市町村全てで行われているもので、同保育園から30人、わかば幼稚園(山口悦子園長)から12人の園児が参加。当日は肌寒い天気となりましたがダンスを指導した高橋厚子さんの熱気につられて、児童らも元気よくダンスを楽しみました。また、わんこきょうだいのうにっちも登場し、人形と塗り絵をプレゼント。受け取った児童らは目を輝かせていました。

細川流舞踊から善意 町の復興にと益金を寄付

新舞踊の細川流舞踊(家元・細川艶柳華さん)が町に10万円を寄付しました。細川流舞踊の皆さんは震災後いち早く活動を再開。舞踊を通じて町民芸術祭への参加や施設の慰問など、地域を支える活動に積極的に取り組んできました。贈呈式は11月14日、役場町長室で行われ、細川家元ら4人が出席。佐藤信逸町長に寄付金を手渡しました。これに対し佐藤町長は「みなさんの前向きな姿勢は町民の支えとなっている。この益金は有効に使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。



熊本県からの温かな支援 町内施設3箇所で畳表替え

畳を敷いていく音とともにイ草の香りが広がります。10月29日、織笠新田集落センターにおいて畳表替えが行われました。作業をしたのは町内の畳店で、今回使用された畳表は熊本県畳活性化連絡協議会から支援された18枚です。そのほかにも、今年度は同協議会から繋集落センターに18枚、島田地区高齢者活性化センターに20枚の畳表が支援され、同様に畳表替えが行われました。

熊本県は全国一の畳表生産地として知られており、本町への支援は今回で3回目となります。



町のわだい

今月の題字 大町 ^{しんじ}真司君（大沢小3年）



「山田の幸 味わい祭り」が開催 海・山・人の幸を堪能する

10月26日、山田魚市場特設会場において山田の幸・味わい祭りが開催されました。これは、山田の海産物と農産物などを町内外の方にひろく味わってもらうため行われたものです。会場では海・山の幸が販売されたほか、スペインのシェフが山田の食材を使い調理したパエリアのお振る舞いが行われ、訪れた大勢の人が舌鼓を打ちました。ステージでは、町内の郷土芸能や園児らによる演舞が行われ、人の幸も堪能。また、SKE48の松村香織さんの山田町ふるさと大使任命式も行われ、会場は大いに盛り上がりました。

森田ゆりさんによる講演会 人権を理解し虐待防止を

11月9日、保健センターにおいて児童虐待防止講演会が行われました。これは社会問題となっている児童虐待を防ごうと開かれたもので、『CAP（子どもへの暴力防止）プログラム』の普及活動を行っている森田ゆりさんが講師として登壇。森田さんは「人権とは“生きる力”。虐待防止には、まず人権に対する正しい知識が必要だ」と大人の側の人権への理解を求めました。その上で「傷ついた子どものケアには“聴くこと”が大切。そして“聴き方”が重要だ」と対処法を分かりやすく解説。集まった60人の参加者らは、熱心に耳を傾けていました。

